

2022 年度 環境活動レポート



2023 年 5 月 10 日

木々に永遠の生命をあたえたい…東京ボードグループ

ティー・ビー・ロジスティックス株式会社

(実施期間 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

エコアクション 21 環境活動レポート

	<u>ページ</u>
1. 会社概要	2-5
① 会社概要	
② 組織図	
③ 産業廃棄物収集運搬業許可一覧	
2. 環境方針	6
3. 中期環境目標、達成度と評価	7
4. 活動計画表	8
5. 環境関連法規等及び遵守状況	9
6. 社長による見直し結果	10

会社概要 1

1. 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社
代表取締役社長 相川 和政

(2) 所在地

本社 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 100 番地
営業本部 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 331-1
第一車庫 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 329-1,330-1
第二車庫(無人)草加都市計画事業八潮南部西一体型特定区画整理事業
21 街区 14 画地 15 画地 16 画地
第三車庫(無人)草加都市計画事業八潮南部西一体型特定区画整理事業
48 街区 4 画地 5 画地 6 画地
横浜営業所 〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 1-3-4
新木場営業所 〒136-0082 東京都江東区新木場 2-12-5
車庫 東京都江東区新木場 2-11-1
千葉営業所 〒285-0074 千葉県佐倉市西御門 653-16

URL: <http://www.t-b-l.co.jp/>

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 佐治 孝
事務局 中村 優香
連絡先 電話:048-994-1311 FAX:048-994-1315

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

産業廃棄物における収集運搬及び一般貨物運送事業
①本社 ②営業本部・第一車庫 ③第二車庫(無人) ④第三車庫(無人)
④横浜営業所 ⑤新木場営業所 ⑥千葉営業所

(5) 事業の規模

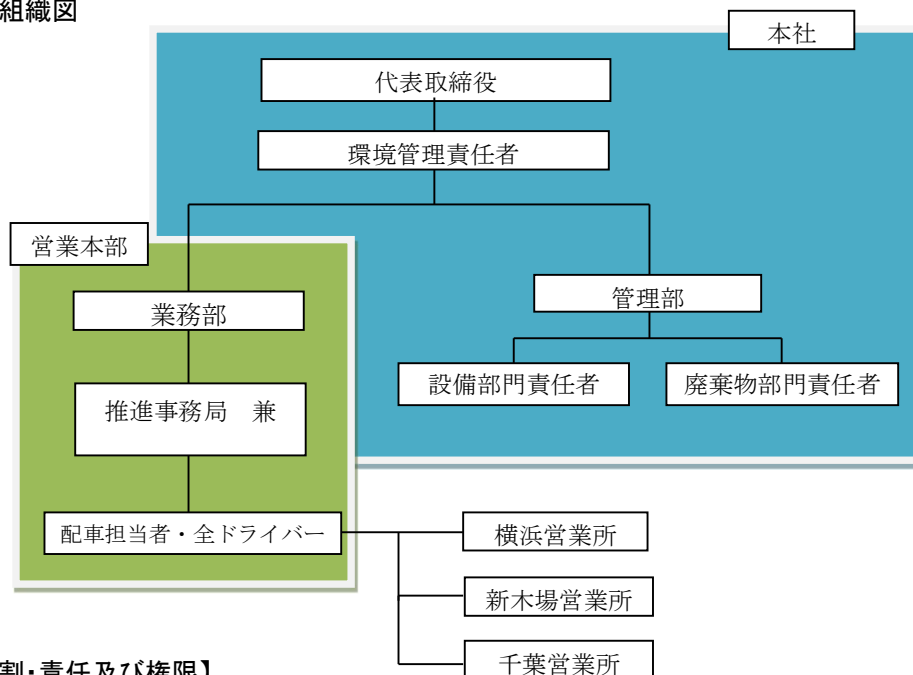
処理量(受託した廃棄物量)	34,424t(総収集運搬量)
売上高	1,548 百万円(2023 年 3 月)
従業員	91 名(2023 年 3 月現在)

(6) 法人設立年月日 平成 9 年 4 月 4 日

(7) 資本金 1,200 万円

会社概要 2

(8) 組織図



【役割・責任及び権限】

代表取締役 相川 和政（環境方針の設定とEA21全体の見直し）
 環境管理責任者 佐治 孝（環境関連法規制の順守評価を含むEA21実施責任者）
 CO2部門責任者 中村 優香（CO2・排水量の削減）
 推進事務局兼廃棄物部門責任者 高石 守（廃棄物量削減）
 推進事務局兼設備部門責任者 中村 優香（設備部門責任者・CO2・排水量・グリーン購入の推進）
 運行管理者 本社:高石守・白鳥隼 新木場:数井克行 横浜:大山達也 佐倉:小松敏哉
 ※ECOドライブ推進者:高石守
 整備管理者 本社:数井克行 新木場:羽鳥良平 横浜:大山達也 佐倉:小松敏哉
 従業員（ドライバー含む） 91名（環境方針の徹底と省燃費運転の推進）

2023.3月末現在

(9) 施設等の状況(収集運搬関係)

運搬車両

用途	車種	台数	登録
収集運搬車両	大型コンテナ車	2	産廃
〃	チップ車	11	〃
〃	15tウイング車	8	〃
〃	15tウイングチップ車	9	〃
〃	8t平車	4	〃
〃	10tユニック車	1	〃
〃	7tユニック車	8	〃
〃	4tユニック車	2	〃
〃	3tユニック車	1	〃
〃	4t平車	4	〃
〃	2.95t平車	2	〃
〃	4tアームロール車	10	〃
〃	4tダンプ車	7	〃
〃	3tダンプ車	1	〃
〃	2tダンプ車	1	〃
	車両保有数合計	71	

(10) 廃棄物処理料金

運搬料金につきましては、車両形状、地域により計算致します。
 なお、無料にてお見積り致しますので下記担当までにご連絡下さい。
 業務部 担当 羽鳥 良平 電話:048-994-1311 ファックス:048-994-1315

産業廃棄物収集運搬業許可一覽

優良産廃処理業者認定を受けている許可証には

がついています。

ティービーエーロジスティクス株式会社

No.	都道府県及び 法令都市	収集運搬 許可番号	新規取得年月日	更新許可取得年月日	有効期限年月日	許可品目														
						産業廃棄物収集運搬業許可														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
						廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	リサイクル 容器くず及 びびん 陶器 磁器	がれき類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	燃え殻	鉱さい	ばいじん	
						(石綿含有物運搬許可)														
1	東京都	※	第13-00-053819号	平成10年5月22日	令和4年5月22日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	埼玉県	※	01107053819	平成10年6月16日	令和4年9月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	千葉県	※	第01200053819号	平成10年6月1日	令和4年7月6日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	神奈川県	※	01402053819	平成12年5月11日	平成29年5月24日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	茨城県		00801053819	平成10年6月1日	令和4年7月1日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	栃木県		00900053819	平成10年8月17日	令和4年8月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	山梨県		01900053819号	平成11年3月26日	平成28年3月26日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	更新手続き中
8	長野県		2009053819	平成13年2月27日	平成30年2月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和7年2月26日
9	群馬県		01000053819	平成12年1月4日	平成29年1月4日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年1月3日
10	静岡県		第02201053819号	平成12年5月9日	平成29年5月9日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年5月8日
11	岩手県		00300053819	平成23年10月20日	平成28年10月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和5年10月19日
12	宮城県		00400053819	平成23年10月25日	平成28年10月25日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和5年10月24日
13	富山県		01601053819	令和元年6月14日	令和元年6月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年6月13日
14	新潟県		01509053819	令和元年6月19日	令和元年6月19日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年6月18日
15	福島県		00707053819	令和1年12月10日	令和1年12月10日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年12月9日
16	山形県		00609053819	令和1年11月8日	令和1年11月8日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和6年11月7日
17	愛知県		02300053819	令和2年1月31日	令和2年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和7年1月30日

※は石綿含有物も運搬できる許可です。廃プラスチック・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずがれき類の3品目です。

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

ティービーエス株式会社

産業廃棄物収集運搬業許可		許可番号						新規許可取得年月日	更新許可取得年月日	有効期限年月日												
都道府県及び 法令都市	積 替 え 保 管	廃 油 （ 揮 発 油 類 、 灯 油 類 、 軽 油 類 ）	廃 酸 （ p H 2 ・ 0 以 下 ）	廃 アルカリ （ p H 1 2 ・ 5 以 上 ）	特定有害産業廃棄物																	
					燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	鉛 さ い	ば い じ ん	収集運搬 許可番号	新規取得年月日	更新許可取得年月日	有効期限年月日							
1	東京都	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	令和4年12月15日	令和9年12月15日	令和9年12月14日
2	千葉県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	平成29年12月19日	令和5年1月31日	令和11年12月18日
3	神奈川県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	平成29年12月20日	令和5年3月6日	令和11年12月19日
4	埼玉県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	平成30年12月19日	平成30年12月19日	令和5年12月18日

2. 環境方針

環 境 方 針

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社は、木質廃棄物を原料とした、パーティクルボード等のマテリアル建材を生産している東京ボード工業株式会社のロジスティクス部門としてスタートしました。

産業廃棄物(木質廃棄物)の回収とパーティクルボード等の配送で多くの車両を運行している当社は、「安全第一」による運行管理を徹底し、急速に変化する市場環境に即応し、整合性、合理性を備えた静脈物流を強化して、環境の保全と継承を支える物流企業として、社会貢献に努めます。

<行 動 指 針>

1. 産業廃棄物収集運搬事業及び一般貨物運送事業に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。

- ① 運搬における二酸化炭素排出量の削減
- ② 事務所、車庫における設備等の電力使用量の削減
- ③ 事務所設備等における水使用量の削減
- ④ 事務作業等から排出する廃棄物の削減
- ⑤ グリーン購入の促進

2. 交通事故及び車両不整備による緊急事態の撲滅による安全経営を目指します。

3. 設定した環境目的、目標達成に向けてDTSの運用を最大限に利用し、EA21プロジェクトによる全体の評価と定期的な見直しを行い継続的改善に取り組みます。

4. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。

5. 環境保全関連の行政機関、団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動を行ないます。

6. 環境教育、訓練の実施によりすべての社員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

7. 環境方針は公開します。

2020年4月1日

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社

代表取締役社長 相川 和政

3.中期環境目標、達成度と評価

目標項目		2019年度 基準年度	単位	当年度								
				2020年度 目標値	2020年度 実績値、評価		2021年度 目標値	2021年度 実績値、評価		2022年度 目標値	2022年度 実績値、評価	
安全	交通事故撲滅	3	件	0	5		0	3		0	1	
		-	増減件数	0	×	+5	0	×	+3	0	×	+1
CO ₂ 削減	CO ₂ 排出量	2,426,606	kg-CO ₂	2,426,464	2,311,559		2,397,486	2,267,601		2,390,207	2,247,627	
	削減	-	増減率	0.0%	○	95.3%	-1.2%	○	93.4%	-1.5%	○	94.0%
	軽油燃費向上	3.68	km/L	3.69	3.68		3.70	3.78		3.75	3.78	
	削減	-	増減率	+0.3%	○	99.7%	+0.6%	○	102.1%	+2.0%	○	100.8%
	軽油使用量	928,007	L	928,007	883,768		916,871	867,695		914,087	860,583	
	削減	-	増減率	0.0%	○	95.2%	-1.2%	○	94.6%	-1.5%	○	94.1%
	ガソリン使用量削減	6,061	L	6,000	5,452		5,988	4,055		5,970	3,714	
	削減	-	増減率	0.0%	○	90.90%	-1.2%	○	67.70%	-1.5%	○	62.20%
資源有効利用	電力使用量	41,465	kWh	41,050	42,606		40,967	44,309		40,843	42,417	
	削減	-	増減率	-1.0%	×	103.80%	-1.2%	×	108.10%	-1.5%	×	103.90%
資源有効利用	廃棄物排出量削減	1,450	kg	1,428	3,120		1,428	2,136		1,428	1,629	
	削減	-	増減率	-1.5%	×	218.50%	-1.5%	×	149.60%	-1.5%	×	114.08%
資源有効利用	水使用量削減	102	m ³	監視水準25m ³ /2か月								
	コピー用紙使用量削減	386	kg	381	306		381	240		380	320	
資源有効利用	グリーン購入	25%	%	監視水準25%								
	削減	-	増減率	-1.2%	○	80.30%	-1.4%	○	63.00%		○	84.21%

環境責任者によるコメント(確認、評価)

車両バック事故が1件発生した。前年度はバック事故3件で2件減少したが、事故再発防止策の有効が見られない。事故発生場所が工場敷地内で発生している。前年と比較し減ってはきている。次年度は無事故達成できるように運行管理者はもう一度ドライバーヒアリングを行い、無事故達成できるように再教育すること。

電力量については前年度比1,892kWh減少。目標値比1,574kWh増加。事務職員の時差出勤を取り入れたことにより、事務所の稼働時間が伸びたことによるもの。

廃棄物排出量については、前年度比507kg減少しているが目標値比201kg増加している。今期は本社事務所の大幅移動に伴い不要物の排出が大きな要因と考えます。引き続き不要なゴミは極力出さないよう社員1人1人が意識する行動が必要になっていくため再教育すること。

評価：○達成、△90%達成、×未達成

※当年度の増減率欄は達成率と評価を示す。

※電力のCO₂排出係数は東京電力エナジーパートナー2019年度調整後排出係数0.441kg-CO₂

※基準値として3年間使用

3. 次年度の取組

次年度の目標値はこのページの2022年度の目標値を採用します。また、活動計画の活動事項は前年度と概ね「達成手段」に取り組みます。

4.2022年度環境活動計画表

予定：○、実施済：●、未実施：×

目標項目	達成手段	実施スケジュール					
		4.5月	6.7月	8.9月	10.11月	12.1月	2.3月
交通事故撲滅	交通安全教育の実施	●			●		
	交通事故原因の調査						
	ドラレコの有効活用		●			●	
	KYT教育の実施(交通安全、緊急事態)		●				
	安全大会の開催					×	
緊急事故撲滅	緊急事態対応訓練						●
	定期車両整備	●	●	●	●	●	●
軽油使用量削減 ガソリン使用量削減	アイドリングストップ	●	●	●	●	●	●
	新入社員エコドライブの教育	●					
	動脈物流と静脈物流の一体化	●	●	●	●	●	●
	低燃費車の導入						●
	正確なDTSによる燃費管理の徹底	●	●	●	●	●	●
電気使用量削減	クールビズ・ウォームビズの継続	●	●	●	●	●	●
	エアコン設定温度の管理		●	●		●	●
	リモートワークの推進	●	●	●	●	●	●
廃棄物排出量削減	段ボールのリサイクル化	●	●	●	●	●	●
	紙の分別・リサイクル化	●	●	●	●	●	●
	木くず収集運搬量データ管理	●	●	●	●	●	●
水使用量削減	車両洗浄の管理	●	●	●	●	●	●
	漏水の監視	●	●	●	●	●	●
コピー用紙使用量削減	両面コピー	●	●	●	●	●	●
	裏紙の活用	●	●	●	●	●	●
	iPADの活用	●	●	●	●	●	●
G購入推進	事務用品のG購入 (コピー用紙、トイレットペーパー、ファイル、)	●	●	●	●	●	●
その他の活動	定期的な地域清掃(アースデー)	×		×			
	EA21審査	●					

※2022年度未実施：×に関しまして、コロナウイルス感染症まん延の為、中止又は延期となりました。

5. 環境関連法規等及び遵守状況作成日

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通り

作成日：2022/4/1

遵守評価日：2023/4/25

主な適用法規		当社の対応	確認	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	14条	・都道府県知事による収集運搬業の許可	遵守確認済(台帳にて管理)	○
	14条	・排出事業者又は処分業者との書面による委託契約の締結、確認及び保管(5年間)		○
	14条	・委託業者との契約、許可証明書の確認及び保管		○
	14条	・委託契約書記載内容の確認		○
	12条の3	・マニフェストの適正な記載・交付・戻り状況の確認及び保管 ・報告の義務		○
家電リサイクル法	6条	・引渡し ・費用支払	今年度は廃棄なし	○
貨物自動車運送事業法	18条	・運行管理者の選任・届出	高石選任 届出済 管理手帳(2年ごと講習)	○
	50・52条	・整備管理者の選任・届出	数井選任 届出済 管理手帳(2年ごと講習)	○
道路運送車両法	47・48条	・社有車両の3ヶ月点検及び日常管理	車両一覧表にて管理	○
自動車NOxPM法	12条	・NOxPM排出基準適合車両の使用	車検証にて管理	○
フロン排出抑制法	16条	・管理者判断の順守・該当機種有無	四半期毎に点検	○
	41条	・フロン類引き渡し業務	空調の引き渡しなし	○
	43条	・回収依頼書/委託確認書の交付・保存		○
	45条	・引取証明書の保存 3年間		○
労働安全衛生法	11-12条	・安全管理者・衛生管理者の選任・届出	羽鳥選任・届出済	○
	19条	・安全衛生委員会の設置・開催・記録	開催、議事録有	○
	66条	・定期的な健康診断の実施	各自年1回 常時スケジュール通り実施	○
PCB廃棄物の処理作業等における安全対策要綱	第3	・特定化学物質等作業主任者の選任	受注以降、遵守状況を確認する。	○
	第4	・安全教育		○
	第6	・保護具		○
埼玉県生活環境保全条例	40-41条	・アイドリング・ストップの推進	事務所内推進文書掲示	○
	36条	・行政報告 30台以上	車庫内推進ポスター掲示済	○
	31条	・PM規制(PM減少装置、又は認定形式)	全台装置あり	○
埼玉県地球温暖化対策推進条例	30条	・自動車地球温暖化対策計画の提出	埼玉県ホームページで公表	○

当年度には法規違反と訴訟はありませんでした。

遵守状態：○ 準備中・対応中：△ 不適：×

※本記録は、3年間保存後、シュレッダーで破棄処分

6.社長による見直し結果

(1) 全体の確認・評価

事項	報告内容（要旨）	代表者の評価
環境経営目標の達成状況	<p>●CO2排出量削減●軽油使用量●ガソリン使用量の3項目については目標値を達成。</p> <p>●軽油燃費向上●電力使用量●廃棄物排出量削減●コピー用紙使用量削減の4項目については目標値未達であった。</p>	<p>軽油使用量について前年度と売上高は同等であるが、削減出来ている。これは効果的な車両の代替え、効率的な運行計画を行ったため環境負荷に繋がったと評価できる。</p> <p>電力使用量については、事務職の時差出勤に対応した目標値の見直しを含め検討してください。</p>
環境経営計画の実施	<p>計画通り実施出来たが目標値未達が目立った。</p> <p>今年度を基準年とし次年度以降の目標を立てる。</p> <p>その際、達成手段の見直しを再度行います。</p>	<p>2020年度に目標値を設定したが、コロナ禍の影響もあり実績値との乖離がある。2022年度実績値を基に目標値を立てるようにすること。</p>
安全経営	<p>年間を通して1件のバック事故が発生した。前年度同様の構内におけるバック事故だった。再発防止策が有効ではないと考え、再度ドライバーも含め事故分析を行い再発防止策を練り直し再教育いたします。</p>	<p>ドライバー教育のイーランニングを取り入れたので、そちらを活用してドライバー教育を徹底すること。次年度は無事故・無災害が達成出来るように、運行管理者・整備管理者が中心になって安全教育、車両管理に取り組んでください。</p>
環境関連法規などの遵守状況	<p>当年度には法規違反及び訴訟等はありませんでした。</p>	<p>法改正には常に情報収集すること。引き続き法令順守の徹底を図ってください。</p>

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性、並びに指示事項

指示事項	要否	変更が必要な場合の指示事項等
環境方針の変更	否	
環境目標	要	2022年度基準で環境経営計画3カ年計画の作成
環境計画及び活動	否	
安全経営	要	運行管理者・整備管理者を中心に有効な事故再発防止策を検証し継続的に再教育する。
実施体制	要	環境管理責任者交代の管理体制の見直し